

TOOTH FAIRY



日本全国
6,806医院
参加

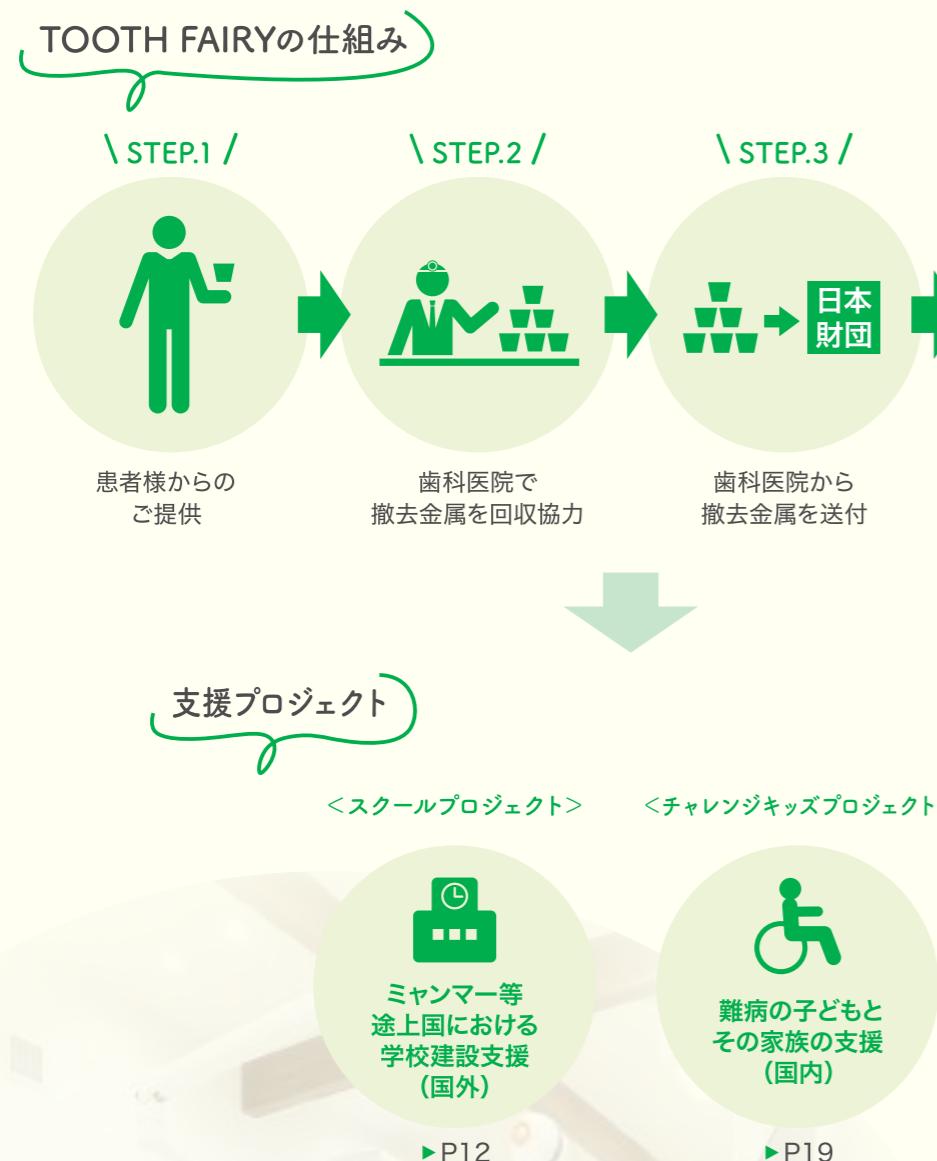


累計金属リサイクル等金額
17億円
以上

金歯や銀歯での社会貢献 トゥース・フェアリー

TOOTH FAIRYプロジェクトはこの活動に共感した歯科医院が、患者様の協力により集めた金属をご提供いただくことにより進めてまいりました。金歯や銀歯が、支援を必要としている子どもたちへ、「夢」や「希望」という大きな力となって届いています。

◇活動の概要



TOOTH FAIRY プロジェクトに寄せて

日本歯科医師会が協力し、日本財団が主体となって実施している「TOOTH FAIRYプロジェクト」は、不要になった歯科撤去金属を患者さんのご理解の下に歯科医療機関が提供し、得られた資金によって活動を行っています。参加歯科医療機関数は6,800超、総額は17.7億円に達し、本年で12年目を迎える大規模プロジェクトに発展しました。

歯科医師だからできるこの社会貢献活動により、難病や障がいを抱える子ども達とそのご家族への支援事業や、ミャンマーでの学校建設事業が展開されています。また、資金面のみでなく、現地における歯科医師による歯みがき指導などのボランティア活動も積極的に行われています。

支援活動は継続が重要であり、更に多くの歯科医療機関が参画し、本活動が少しでも多くの社会貢献に繋がることを心から祈念いたします。



公益社団法人 日本歯科医師会
会長 堀 憲郎氏

TOOTH FAIRYプロジェクト実績

2019年度金属リサイクル／現金寄付総額：221,014,390円

累計金属リサイクル／現金寄付金額：1,779,292,566円

参加歯科医院数：6,806医院

(2020年3月31日現在)

2019年度も沢山のご提供をありがとうございます。



1. チャレンジキッズプロジェクト(難病児とその家族の支援)

1) 病院、施設、自宅での子どもの成長を支える取り組み [5事業]

TOPIC

認定特定非営利活動法人
シャイン・オン・キッズ(東京都)

活動内容:

専門的に訓練された犬(ファシリティドッグ)と医療資格(看護師)のあるハンドラーが小児医療現場に常勤し、長期入院を余儀なくされている小児がん、重い病気の子どもが自身の治療を前向きに捉え、自尊心を保てるよう“心のケア”を実施します。
これまで、静岡県立こども病院、神奈川県立こども医療センターで活動をしており、2019年度は新たに、東京都立小児総合医療センターでも活動を行うことになりました。



東京都立小児総合医療センターでの就任式

2) 旅行やキャンプ等を通じた子どもと家族を支える取り組み [6事業]

TOPIC

社会福祉法人東大寺福祉事業団
奈良親子レスパイトハウス(奈良県)

活動内容:

2014年度TOOTH FAIRYにて施設改修を行った、東大寺境内にあるレスパイトハウスを活用し、親子で楽しめる日帰りレスパイト旅行および宿泊レスパイト旅行を提供しました。



屋外でいきいきとした表情に

3) 難病の子どもと家族のための施設等を整備する取り組み

TOPIC

公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を(東京都)

活動内容:

2017年度に決定した事業で、2020年3月、沖縄県国頭郡恩納村に新たな施設が完成いたしました。沖縄のきれいな海の近くで、子どもも家族も日常から少しおなれて、ゆっくりくつろげる施設となっています。



竣工式の様子

これまでに全国で8ヵ所の施設整備を行うことができました。なお、難病の子どもと家族を支えるプログラムに関しては18ページにて詳細を記載しております。



2.スクールプロジェクト ミャンマー学校建設支援

2019年度は、ミャンマー連邦共和国
イラワジ地域に4校の学校を建設いたしました

開発途上国の貧困解決には、基礎教育支援が重要ですが、同時に村落の開発支援を行うことも非常に大切です。学校の維持運営には、修繕費の確保、教師の確保など継続的な資金が必要です。TOOTH FAIRYでは、校舎の建設費の1/4を自己負担させ、建設協力も行わせることで、自立運営への意識づけを行います。



建設校概要

学校名	備考
[1] アインジャウンズ中学校(ヒンダタTS)	生徒数：小学校137人、中学校135人／先生：13人
[2] レゼイ高校(ジョンピョーTS)	生徒数：小学校181人、中学校507人、高校217人
[3] ベークイン中学校(バテインTS)	生徒数：268人／先生：10人
[4] チッパウン高校(バテインTS)	生徒数：1,000人／先生：31人

3.歯科ボランティア

難病や障がいを抱える子どもたちは、むし歯や歯周病などの歯科的疾患や外傷、摂食機能障害などを抱えるケースが多く、口腔ケアに特別な配慮を必要としています。また、ミャンマーの学校建設では建設地では、ほとんどが無歯科医村でありむし歯の子どもたちも多く、口腔ケアや予防の知識が十分に行き届いていないのが現状です。

このような子どもたちへ、直接ボランティア活動を行うことで、子どもたちの歯科の知識や家族への理解がより深まります。金属の提供という資金援助だけでなく、歯科ボランティア技術協力の両面から国内外の子どもたちを支援する社会貢献活動となっています。



ミャンマー口腔ケアボランティアツアーに参加いただいた先生方

1) 難病児キャンプ 口腔ケアボランティア

2019年度は、11名の歯科医師・衛生士の皆様にご協力いただきました。



子どもたちの口腔チェックをする歯科医師・衛生士



丁寧に口腔チェックをしていただきました

2) ミャンマー口腔ケアボランティア

2019年度は12名にご参加いただきました。

また、ライオン株式会社様より720本の歯ブラシをご提供いただき、現地の方々にお渡しいたしました。



むし歯の子どもたち多く、個別に歯磨き指導を実施



ライオン株式会社様より歯ブラシのご提供

◇寄付歯科医院の声

ボランティアを通して歯科保健を届けたい

ミャンマーへの歯科ボランティアツアーには、第2回から継続して参加しています。TOOTH FAIRYの活動は、ミャンマーでもかなりの地方、僻地ともいいう農村で行われています。電気・水などのインフラがない状態でも、地域の住民は教育に非常に熱心です。ここで学校を建設するだけでなく、地域を巻き込んで活性化を促し、生活の向上をもはかろうというのがTOOTH FAIRYの活動です。

私たちは建設された学校を訪問し、保健活動を通じて住民と交流してきました。この活動はハードを作つておしまいではなく、継続して地域の面倒を見ているところに素晴らしいと感じています。スタッフの努力には感嘆するものがありますが、ぜひ継続発展して欲しいと思います。撤去冠がこのような形で役立つという素晴らしい仕組みを、大威張りで患者さんに説明できるのです。個人的には、この学校を通して歯科保健を届けられたらと思っています。



前田歯科医院 前田龍一先生

TOOTH FAIRYの協力歯科医師会として活動を

私たち公益社団法人東京都目黒区歯科医師会は平成25年に公益法人化し、区内唯一の歯科系公益法人として活動しています。

地区歯科医師会として、地域住民に対する医療・公衆衛生の向上に寄与することは勿論のことですが、地域を超えた幅広い社会貢献の一つとして、TOOTH FAIRY事業への協力や書き損じハガキの寄付などの呼びかけなどを行なっています。

今後も社会貢献を志向するTOOTH FAIRYの協力歯科医師会として、活動してまいります。



公益社団法人
東京都目黒区歯科医師会様

**全国の歯科医師、患者様からのご協力のもと、
国内外の子どもたちへ笑顔を届けていきます。**